

写真は市制施行当時と現在のようすです。



富士見町役場(左)の跡地に建つ鶴瀬公民館(右)



鶴瀬駅ビルからみずほ台方面を望む



鶴瀬駅北側の第110号踏切



鶴瀬駅東口



笑顔があふれ

輝き続けるまちへ

富士見市は、昭和47年4月に市制を施行してから今年4月で50周年という大きな節目を迎えました。市制施行時に人口約6万人で歩み始めた本市は、都心から30km圏内で緑も多いというポテンシャルを生かし、都会と自然が調和した住みよいまちとして発展を遂げ、今日までに人口11万2千人を超える都市に成長いたしました。

今日に至るまで市政運営にご支援、ご協力をいただきました市民の皆様、そして本市の発展にご尽力いただきました多くのの方々に深く感謝申し上げます。

今、社会を取り巻く環境は、世界的な気候変動に伴うグリーン分野への対応やポストコロナに向けたデジタル分野の加速化などにより、大きな変革の時代を迎えようとしています。

この変革の時代を乗り越え、本市が今後も持続可能なまちづくりを進め、

さらに発展していくためには、先人の方々の伝統や事業を引き継ぎ、さらに発展させて未来を切り開いていく「けいぞう継往開来」の精神が大切です。

私は、市制施行50周年を記念して行われるさまざまな事業を通して、コロナ禍で失われた人と人との絆を取り戻すとともに、「けいぞう継往開来」の志を市民の皆様と一緒に共有しながら変革を実現し、新たな時代を築いていくためのスタートとしたいと思っております。

「みんな笑顔☆ふじみ」を合言葉に、第6次基本構想で定めた本市の理想の未来である誰もが自分らしく「充実した日々」が送れるまちづくりを目指して、全力で市政運営に取り組んでまいりますので、今後とも皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

輝く未来を予感させる富士見ファンファールの誇り高く、力強い音色とともに、新たな歴史を一緒につくりましょう。

市長 星野光弘



市制施行50周年

富士見市 誕生から50年

☎ 秘書広報課 049-256-9535

50年前の昭和47年4月10日、富士見町が市制を施行し、「富士見市」が誕生しました。今月号の特集では、富士見市が歩んできた50年を振り返りながら、これからの富士見市の展望や、笑顔と絆をはぐくむ市制施行50周年記念事業についてお知らせします。

市制施行50周年

成長を続けてきたまちの歩み

都心から30km圏内に位置し、都市部と緑豊かな田園風景が調和した快適で住みよいまちとして成長してきた富士見市。人口の推移とともに、現在も成長を続けるこのまちの歩みを振り返ります。

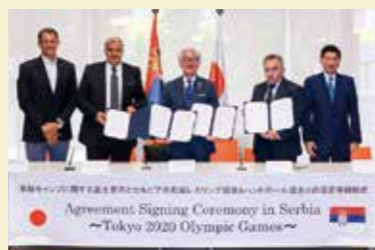


●東京2020オリンピック聖火リレーが市内を通過。ランナーは高校生の未来オリンピックの中谷奏空さん(R3)



●梅酒「梅恋花」販売開始(H29)

人口約11万人(H28)



●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウン登録(H30)



●東武東上線が東急東横線・みなのみらい線と相互直通運転開始(H25)

●ロンドンオリンピックレスリング女子フリースタイル48kg級で小原日登美さんが金メダル(H24)



●市マスコットキャラクター「ふわっぴー」誕生(H24)(市制施行40周年)



●キラリ☆ふじみ開館(H14)(市制施行30周年)

人口約10万人(H11)



●難波田城公園開園(H12)



●純米吟醸縄文海進販売開始(H4)(市制施行20周年)

人口約9万人(S62)



●みずほ駅開設(S52)



●市制施行(S47)

2022 令和4年

●埼玉大学STEM教育研究センターと連携し、科学技術分野で将来活躍する人材を育成するSTEM教育の取り組み開始(R1)



●セルビア共和国・サンマリノ共和国のレスリング選手団が市民総合体育館で事前キャンプを行い、銅メダリスト誕生(R3)



2012 平成24年

●手話言語条例制定(H27)



●市制施行45周年記念事業「ももクロ春の一大事2017 in 富士見市」(H29)



2002 平成14年

●第3代富士見市長・萩原定次郎氏が名誉市民に(H15)

●副都心線開通。東武東上線から直通運転開始(H20)

●東日本大震災発生。多くの市民が被災地でボランティア活動(H23)



1992 平成4年

●ふじみ野駅開設(H5)



●水子貝塚公園開園(H6)



1982 昭和57年

人口約8万人(S56)

●自治体初のミニ鉄道公園であるむさし野緑地公園が開園(S55)



人口約7万人(S51)

●シャバツ市と姉妹都市提携(S57)



●東武東上線に地下鉄有楽町線乗り入れ開始(S62)

●初代富士見町長・加治幸輔氏が名誉市民に(S57)

●第1回ふじみ市民まつり開催(S57)(市制施行10周年)



人口約6万人(S47)

市制施行50周年

これまでも、そしてこれからも

市の50年の歩みには、今日まで一歩一歩力を合わせてまちづくりを支えてきた市民の皆さんの力がありませんでした。ここでは、地域の皆さんに、自らが大切にしてきたもの、次世代に引き継いでいきたいものなどを伺いました。

町会が紡ぐ

地域の絆

町 会という組織は100年先でも必要とされるものと考えています。それは、地域の防災力・防犯力の向上という町会活動の意義だけではありません。コロナ禍による直接会う機会の減少やSNSなどにより人と人とのつながりの形が変化してきていますが、そうした中でも、人間関係が希薄だと思われがちな都心からの転入者や若い世代の方の多くが自ら町会に加入し、私たちの活動に対して感謝を伝えてくれています。また、地域では、学校の



富士見市町会長連合会 会長 山本 昇一 さん

先生や商店を営む方など、多くの皆さんが住民や子どもたちに深く関わってくれています。そんな大切な「地域の絆」が100年先にも残せるよう、市とともに市制施行50周年をお祝いし、町会だからこそできる団結力で絆をより太く紡いでいきたいと思っています。



通学路で見守り活動を行うつせ台小学校区の町会の皆さん

子どもたちが夢に向かえるように

明

るく人懐っこい子どもが多い富士見市の子どもたち。その人懐っこさの秘密は、各家庭のあたたかさに加え、地域の皆さんが子どもたちに声をかけ、関わってくれることにあると思っています。私も富士見市で育ちましたが、そのころから変わらない地域のあたたかさを今の子どもたちも受けることができている。これはまさに代々続く「地域ぐるみの子育て」で、富士見市の大きな魅力の1つだと思っています。また、しっかりと自分の



ナーサリースクール☆SUKUSUKU 園長 平岡 祐子 さん

夢を持っている子どももたくさんいます。当園では、子どもたちが自ら学び行動ができるようになるよう、一緒に悩み考えることを保育の理念としています。子どもたちが夢に向かってまっすぐに進んでいけるよう、一人ひとりの「考えるチカラ」をはぐくみ、未来を担う子どもたちを育てていきたいと思っています。



道行く人にあいさつをする子どもたち

笑顔を生む演奏が まちを元気づける

私

が水子上組囃子連に入ったのが約50年前。当時は先輩方と酒を酌み交わしたり、子どもも大勢お囃子を習いに集っており、地域住民が家族のように笑顔で顔を合わせられる大切な団らんの日でした。近年、祭事に関わる方が減ってきており、それに比例して、まちの元気がなくなってきたように感じています。地域の祭りには、歴史や風習という観点以外にも継承していくべき大切な要素があります。それは、転入された方や若い世代の方と地域

水子上組囃子連 会長 増田 勝雄 さん



江戸時代後期から続く水子上組囃子

とをつなげる役割です。お囃子の音色に誘われ集まる方々は皆笑顔で楽しげです。私たちお囃子に関わる者は、富士見ファミリーの一員として、住民の笑顔を引き出す大切な役割を担っていると思っています。今後もお囃子の演奏技術とともに、笑顔やまちの元気を生み出す力を次世代へつないでいきたいと思っています。

地域みんなが応援しあえるまち

大

学校卒業後、5年間民間企業に勤めていましたが、黙々と農業に汗を流す父の姿に憧れ就農を決めました。新井家はチャレンジ精神豊富な家系で、祖父はイチゴ、父はキュウリの栽培を始めました。今は農業技術を磨いているところですが、私もいずれは祖父や父と同じように、代々引き継がれてきた大切なこの土地で、新しいことに挑戦したいと考えています。就農のために富士見市に戻ってきたとき、このまち

市内農家(東大久保) 新井 勤 さん



みずみずしいキュウリが育つ新井さんの畑

は地域活動が盛んで、地域がみんな支え合っていることを強く感じました。私には1歳になる息子がいます。息子が夢に挑戦するとき、私のように地域のあたたかさを感じてほしい。そうした富士見市を息子の世代に残せるよう私たちの世代がしっかりと引き継いでいきたいと思っています。



市制施行50周年

笑顔と絆をはぐくむ50周年記念事業

市制施行50周年となる令和4年度は、市民の皆さんからのアイデアが詰まったさまざまな事業を実施し、笑顔と絆をはぐくんでいきます。

4月10日 市制施行50周年 記念式典

市政の発展に貢献された先人への感謝とさらなる飛躍につなげるため、市制記念日に開催します。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、一般の方の観覧はできません。

記念映像を作成しました

市の過去、現在、未来へと笑顔をつなげていきたいという想いを込めた記念映像です。映像は式典開催にあわせて、市ホームページなどで公開します。

富士見ファンファーレ

式典では、公募により決定した富士見ファンファーレを初披露します。ファンファーレは今後市の事業などで活用します。



新しい富士見市へ 祝福の気持ちを込めて

富士見ファンファーレ作曲者
國分 大悟 さん

これからの富士見市へ祝福の気持ちを込めて作曲しました。聴いた方が新たな道を歩む勇気を持ってもらえたらうれしいです。



9月~ 謎解きデジタル スタンプラリー

スマートフォンで参加できる謎解きの要素を加えたスタンプラリーです。市内各地に謎解きスポットを設置し、楽しみながら市内を周遊します。



11月19・20日 FUJIMI☆音楽祭

場所：キラリ☆ふじみ

富士見市文化芸術アドバイザーの北原幸男さんをはじめ、プロ・アマの演奏家による音楽フェスを開催します。



おもな記念事業一覧

特別事業のほか、毎年実施している事業を拡充して実施する事業など、令和4年度中にさまざまな記念事業の実施を予定しています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



とき	事業名	とき	事業名
4月	・市内3駅発車メロディー放送開始 ・市制施行50周年記念式典	9月	・謎解きデジタルスタンプラリー
5月	・FUJIMI☆クラフトビアフェスタ	10月	・富士見ふるさと祭り
6月	・富士見のあゆみ発行	11月	・FUJIMI☆音楽祭 ・花火大会
7月	・松竹歌舞伎舞踊公演	12月	・ふわっぴー10周年記念ポスト設置
8月	・子ども大学☆ふじみ特別講演	令和5年2月	・ふじみ☆ふわっぴー絵本お披露目

※新型コロナウイルスの感染状況により、中止・延期になる場合があります。



11月26日 花火大会

場所：関沢小学校、勝瀬中学校、本郷中学校

町会や商工会と連携し、市全体の元気を取り戻せるよう、3つの小中学校で同時に花火を打ち上げます。



文化の杜公園で行われた「成人の日・ミュージックHANABI」(R2.1)

市制施行50周年記念事業
こんなことも
やっています
【Part②】



カウントダウンフォト(1/1~4/10)

市制施行50周年を迎える4月10日までの100日間、市ホームページのトップに市民の皆さんからご応募いただいた写真を掲載してカウントダウンを行っています。

市制施行50周年記念事業
こんなことも
やっています
【Part①】



市立保育所☆子ども手形アート展(2.11~27)

市立保育所の子どもたちみんなで作ったアート作品をららぽーと富士見内に展示しました。



友だちと一緒にいろいろな色の手形を取られて、とても楽しかったです!!
古谷野 愛美 さん